

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 60代	癌疼痛 (残胃炎, 血小板増 多症, 低カルシウム 血症, 不眠症)	15mg 1日間 ↓ 20mg 2日間	肝障害 既往歴: 急性腎不全 投与開始日 食道癌術後頸部再発による疼痛に対し, 本剤投与開始。 投与2日目 本剤の副作用と考えられる悪心を認めたが, 継続投与。 投与3日目 体調不良を訴えたため, 血液検査を行ったところ, 肝障害を認め, すぐに本剤 (投与中止日) の投薬を中止。グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤の点滴による治 療開始。 排尿障害発現。 中止2日後 徐々に体調は回復。 中止3日後 血液検査では, AST(GOT), ALT(GPT), AI-P, γ -GTPともに改善傾向を認 める。 中止4日後 肝障害の軽快, 排尿障害の回復を認める。

臨床検査値

	投与5日前	投与3日目 (投与中止日)	中止1日後	中止3日後
AST(GOT)(IU/L)	26	438	372	59
ALT(GPT)(IU/L)	20	383	344	155
AI-P(IU/L)	420	1466	1692	1147
LDH(IU/L)	250	571	464	236
γ -GTP(IU/L)	18	152	158	99
総ビリルビン(mg/dL)	0.21	—	—	—

併用薬: ファモチジン, アスピリン, 沈降炭酸カルシウム, エスタゾラム

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
2	女 70代	右大腿神経痛 [回盲部癌浸潤によ る] (なし)	10mg 5日間	肝機能異常 既往歴: 高血圧 投与約3年半前 回盲部癌右外腸骨動静脈浸潤にて腫瘍切除, 右外腸骨動脈人工血管置換術, 右大腿神経に浸潤した腫瘍核出。 以降, 右大腿神経痛・右下肢痛があり, ロキソプロフェンナトリウム内服。 投与35日前 同部の痛みが強いため, 当院他科にて硫酸モルヒネ(10mg)が投与されたが, 嘔気・嘔吐, めまい, ふらつきが発現し, 1日で自己中止。 投与開始日 当院他科より当科へ紹介受診。疼痛治療として, 本剤10mg, ジクロフェナクナトリウム75mg/日の経口投与開始。 嘔気・嘔吐, ふらつき発現。 投与2日目 ジクロフェナクナトリウム投与中止。 投与5日目 (投与中止日) 疼痛は改善するが, 嘔気・嘔吐, ふらつきが増強し, 本剤投与中止。 中止3日後 疼痛治療として, 塩酸モルヒネ内服液25mg/日を経口投与(同日のみ)。 肝機能障害発現。 中止4日後 発熱, 全身倦怠感が強く, 血液検査にて肝機能異常を認め入院。グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤静注を施行。疼痛に対してはフェンタニル(2.5mg)貼付を施行。 中止7日後 嘔気・嘔吐, ふらつきの回復を認める。 中止13日後 肝機能の改善が認められ, 退院。

臨床検査値

	投与開始日	中止4日後	中止10日後
AST(GOT) (IU/L)	20	762	17
ALT(GPT) (IU/L)	16	702	51
Al-P (IU/L)	340	1274	552
LDH (IU/L)	180	957	189
γ-GTP (IU/L)	91	751	301
総ビリルビン (mg/dL)	0.40	1.45	0.48

併用薬: ジクロフェナクナトリウム, ベシル酸アムロジピン